



Hino Advancement Center Newsletter

## 日野振興センターだより

令和2年12月発行 no.31

### menu

【特集】

## 日野郡の農林業 ～未来に向けて～

- 町が森林を管理する新しい制度の  
推進を支援します！
- 持続可能な社会の実現を目指して  
～「SDGs」の取組～
- 新型コロナウイルス感染症への日野郡の備え  
住民の皆さんの命と健康を守る取組
- 日野郡で輝く人「B.O.T」代表 竹永 正俊さん
- 屋根裏に忍び込んだのはコイツかも!?
- 道路除雪についてのお願い



### 令和2年度(第104回) 大日本農会 農事功績者表彰

#### 緑白綬有功章

つぼくら かつ ゆき  
坪倉勝幸氏(日南町阿毘緑)

コロナ禍のため、じきじきの贈呈はかないませんでしたが、大日本農会総裁秋篠宮皇嗣殿下より授けられ、11月26日平井知事から伝達されました。坪倉氏は、永年にわたり中山間地の水稻優良品種の選定と産地化、担い手の育成、ほ場整備・集落営農を推進し、地域農業の振興に貢献されました。このたびは、標高500mを超える山間の立地にあっても、作業受託体制を先駆的に確立し、大規模稲作、売れる米作りによる優良経営を先導的に実践され、信念として堅持されてきた「地域との共存共栄」の基本姿勢が高い評価を得て、本県では9年ぶりの栄誉となりました。



知事から伝達の様子

(注)大日本農会は、農業農村の振興と発展に寄与することを目的に、明治27年創設の農事功績者表彰事業等を実施する公益社団法人

### 令和2年度江府町新嘗祭 献穀米関連行事 ～抜穂式から献穀米引渡しまで～



抜穂式(記念稲刈り)



森田ご夫妻(右)から生産振興課へ  
献穀米引渡し



抜穂式(記念写真)

10月21日、天皇陛下自らが今年の豊かな収穫に感謝し来年の豊作を祈願される「新嘗祭」に献上する献穀米が、森田照男さん、和江さんご夫妻から県生産振興課へ引き渡されました。献穀米は、同課から宮内庁へ送付されました。今年は新型コロナウイルスの影響で例年とは異なり、献穀者等が直接皇居で献上することに替えて行われたものです。

4月の播種、5月の田植え以来、貝田集落の皆さんの協力のもと、献穀者である森田ご夫妻が丹精込めて栽培され、台風や鳥獣の被害もなく、立派な稲穂が実りました。

9月には澄み渡る秋空の下、平井知事をはじめとする来賓にもお越しいただき、貝田の斎田にて「抜穂式」が厳かに行われました。当日は、森田ご夫妻のお孫さんも「御刈女(おかりめ)」として稲刈りをされ、無事収穫できる喜びを参加者全員がかみしました。手刈りをされた稲穂は、はでにかけられ約1か月弱天日干しにされた後、献納される一升のお米を準備するため、関係者が一粒一粒心を込めて選別しました。

今後は、来年の献穀者(八頭町)に種子を引き継ぐ「引渡式」が予定されています。次に、日野郡において新嘗祭の献穀に取り組むのは、6年後の予定です。

### 表彰された日野郡の農林業者を紹介します

#### 鳥取県優秀経営 農林水産業者等表彰

鳥取県農林水産業の発展を図るため、技術及び経営の優れた農林水産業者を知事表彰するものです。令和2年度は6部門において日野郡の2名と1組織を含む48経営体・組織が表彰され、10月14日、表彰式典がとりぎん文化会館で行われました。

#### 農林水産業 功労者

くしろ こういち  
久代宏一氏(日野町黒坂)

10代の頃から半世紀以上にわたって、原木椎茸生産に取り組み、周囲の生産者と連携しながら大規模経営を実践してきました。原木の伐採、搬出、植菌等の椎茸生産に係るほぼ全ての工程を自ら行うとともに、水稻生産等との農林複合経営を行っています。また、1ターンしてきた廣瀬俊介氏に椎茸栽培の指導を行ったり、新規生産者の参入・育成のための団体を結成するなど、地域における椎茸産業の将来を見据えた後継者育成にも力を入れています。

県土の緑化や森林保全に功績のあったものを表彰する「鳥取県美しいもりのづくり功労者」も受賞されました。



日野町の原木椎茸生産者が  
功労者として受賞されました。

#### 未来を担う 青年農林 水産業者

ひろ せしゅんすけ  
廣瀬俊介氏(日野町根雨)

きのこが大好きで、平成25年、原木椎茸生産者になるために日野町へ1ターン。久代宏一氏から椎茸栽培の指導を受けました。現在は、椎茸の達人を意味する「しいたつ」という独自ブランドを立ち上げ、原木椎茸の品質の高さをPRするとともに、町内外のイベントへも積極的に出店し、地域活性化に貢献しています。また、戻し時間を大幅に短縮でき、旨味も増す低温乾燥の乾椎茸生産にもチャレンジし、原木椎茸産業界の若きリーダーとして業界に新しい風を吹き込んでいます。



#### いきいき 農林水産業 組織

みちくさ推進会議 会長 三輪典子氏  
(江府町佐川)

地場産物の消費拡大や地域の活性化を図るため、江府町の生産者が育てた野菜や米、その加工品を自主運営する特産物直売所で販売しています。また、安心安全な食べ物を子供たちに食べさせたいと学校給食への食材提供や保育園での餅つき交流など継続しています(今年は新型コロナウイルス感染症のため交流事業等を中止しました)。



#### 蜜蜂を飼育される方へ



蜜蜂を飼育される方(趣味の養蜂を含む。)は、養蜂振興法の規定により毎年1月31日までにその年の「蜜蜂飼育届(1月1日～12月31日の飼育計画)」を県に提出する必要があります。

日野郡にお住まいの方は日野振興センターに提出してください。手続き等についてご不明な点がありましたら、問合せ先(72-2004)にご連絡ください。

# 町が森林を管理する新しい制度の推進を支援します!

(新たな森林管理システム推進センター) 県西部地区担当 平賀 謙太



常態化してきた異常気象により間伐等の手入れが不足した森林が被災するケースが増え、災害リスクを高めています。これまでの森林の手入れは、所有者の方が《自分で管理する》か、森林組合など《林業事業体に委託する》かの二択でした。しかし、この二択は所有者に森林経営の意欲がない限り実施されることはありません。

そこで、第三の選択肢として《市町村に経営管理ごと委託する》ことを可能にする新たな「森林経営管理制度」がはじまりました。新たな森林管理システム推進センターはその制度の推進を支援するために設置されました。



日野振興センターで打ち合わせの準備をする平賀さん

新制度が整い、「あとはやるだけ」と、簡単に聞こえる話ですが、新たな受け手となる町にとっては急な話とも言えます。例えるなら登山の準備もなく「高い山に登れ」と言われたようなもの。実施に向けて課題は山積みです。

体力や知識、道具そして仲間。高い山を登りきるには多くの準備が必要です。当センターが、共に山に向かう仲間のように、日野郡の皆さんのお力になれたらと思っています。

## 新しい制度(森林経営管理制度)のイメージ図



同日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2018 FAX:0859-72-2125

# 持続可能な社会の実現を目指して ～「SDGs」の取組～

近頃、SDGs(エスディージーズ)という言葉をよく耳にします。SDGsは2015年に国連サミットで採択された「持続可能な世界を実現するための」の目標で、「住み続けられるまちづくりを」等の17のゴール(開発目標)が定められています。ゴールにはそれぞれカラフルなアイコンが作られています。

県でも、今年4月に「とっとりSDGs宣言」を行い、鳥取県ならではのパートナーシップを活かしたSDGs推進に取り組んでいます。(SDGs:Sustainable Development Goalsの略称)



奥大山地美恵 シビエ給食



俣野ふれ愛学舎 小さな拠点



林業アカデミー



5 日野振興センターだより



日野郡で行われている様々な活動もSDGsの定めるゴールにつながります。

同日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



ホームランド多里 小さな拠点



畜産堆肥配布事業

男女共同参画推進会議ひの

# 鳥取県畜産共進会(和種々牛の部) ～次世代を担う若手が活躍～

令和2年10月30日、鳥取県畜産共進会和種々牛の部が琴浦町の中央家畜市場で開催されました。5つの区に県下からのべ45頭が出品され、日野郡からは9月に開催された西部家畜共進会で優等賞となった3頭が審査を受け好成績を収めました。

なかでも、山形美智也さん(63歳)の「ゆりかご696」号は、首席に次ぐ優等賞2席と大健闘しました。当日は、後継者の俊樹さん(32歳)が牛の「持ち手」を担当しました。

また、石橋弘充さん(32歳)さんの「はっぴい」号は特別賞を受賞し、足羽庸治さんや山形美智也さんのようなベテランに加え、こうした若手生産者の活躍がこれからの「日野郡の和牛」を支えていくものと期待されます。



【日野郡の出品牛と結果一覧】

出品区	町名	出品者	出品牛名号	結果(出品頭数)
第1区	日南町	足羽庸治	やすふくしば	優等賞4席(10)
第3区	日南町	山形美智也	ゆりかご696	優等賞2席(15)
第3区	日南町	石橋弘充	はっぴい	優等賞6席(15) 特別賞(前座)

※出品区は牛の生年月日などにより5区に分けられています。  
※特別賞(前座)は牛の前脚が特に優れている牛に与えられます。



山形俊樹さんと審査を受ける「ゆりかご696」号



石橋弘充さんと「はっぴい」号

## 若手生産者の感想と略歴

### ◆山形俊樹さん

結果については、2席になれた達成感と首席になれなかった悔しさが入り混じった感じ。この悔しさと参加した経験を来年の共進会へ活かしたい。

略歴 平成20年に農業大学校を卒業後、父 美智也さんの和牛繁殖経営に参画。現在、親子で繁殖和牛30頭を飼養し、個人経営では日野郡最大規模。

### ◆石橋弘充さん

特別賞は、自分も気づいていなかった「はっぴい」号の良いところを評価してもらえてうれしかった。これを励みに日々の牛飼いを頑張りたい。また、令和4年に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会に出品できるよう努力します。

略歴 平成21年に農業大学校を卒業後、鹿児島県と県内和牛農家での研修を経て、平成25年に新規就農。現在、夫婦で繁殖和牛23頭を飼養。

同日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2027 FAX:0859-72-2090

# 新たな人材を求めて ～日野郡中山間営農ネットワーク協議会の試み～

日野郡の水田農業の中心を担う農業法人等が参加する「日野郡中山間営農ネットワーク協議会(古都久志 会長、21経営体)」が、令和2年10月15日、鳥取県立農業大学校の学生を対象とした就職説明会を開催しました。

当日は、会員の5法人と就農研修制度を運営する(一財)日南町産業振興センター及び就農や農業法人への就職に関心のある学生7名(1年生3名、2年生4名)が参加しました。始めに学生が自己紹介した後、各法人ブースで学生1人1人に会社概要や魅力をアピールしました。学生は真剣に説明を聞き、活発な質疑応答が交わされました。

今回は初めての試みでしたが、学生からは「もっと法人等の話を聞きたかった」、参加法人からは「インターンシップを受け入れたい」「こうした説明会は継続すべき」等の前向きな声がありました。

この会をきっかけに関わりを深める学生と法人もできました。今後は他会員へも活動を広げ、人材確保に向けた取り組みを進めていきます。



対面で説明を行う法人役員と学生

同日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090

ジーンズで日野町を賑やかに  
「B.O.T」代表 竹永 正俊さん  
(日野郡日野町下榎)

今日着ているデニムジャケットとジーンズも、自分で作りました。履いていくうちに変わっていく風合いを楽しみながら、自分だけのジーンズになっていくのが魅力です。



B.O.T  
WORK OF THE TIME

春から秋にかけて鮎釣りやラフティングで賑わう日野川。令和2年3月、その畔に程近い集落に、竹永さんがジーンズの工房をオープンしました。

江府町にある老舗の縫製会社に勤務する竹永さんは、ジーンズの作り方を独学で勉強。昔ながらの製法にこだわり、80~100年前にアメリカやイギリスで作られたミシンをコツコツと収集、縫製工場で培った技術で整備を行い、ジーンズ発祥の頃の製法を忠実に再現したジーンズ製作を始めました。ジーンズは、裾縫い用、ウエストの帯縫い用、ポケットや前立ての二本針本縫い用など、工程ごとにミシンを変えながら、13台のミシンを使用し一人で縫い上げていきます。糸も箇所ごとに色や太さを変え、ポケットには隠しリベットを打つなど細かなところにもこだわって製作し、ジーンズ好きな方に人気を博しています。

竹永さんのジーンズを購入する方には、必ず工房を訪ねていただいています。これも竹永さんのこだわりで、日野町に来て、まちを知っていただき、そして自分だけのオリジナルジーンズを注文してほしい、との思いからです。県内だけでなく、九州や関西からも、多い日には30人ほどの方が工房を訪ねて来られるそうです。

工房を持つ夢を叶えた竹永さん、次の大きな目標は、ジーンズで日野町に地域貢献することです。



この裾縫い用のミシンは、100万円もしました!



伝統的な縫製方法を守り、高度なスキルでアイロンを使わず縫い上げていく作業の様子



工房に所狭しと並ぶミシン

日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

屋根裏に忍び込んだのは  
コイツかも!?



この顔にピンッ!と来るでしょうか?猫のようにスラリとした体格、長いしっぽ、何より目立つ白い鼻筋。こいつの名前は「白鼻芯(ハクビシン)」です。

太さ1mmほどのワイヤーの上を歩き、直径10cmほどの穴はすり抜け、垂直なプラスチック製雨どいのパイプも登ってしまう、忍者のような動物です。屋根裏に動物が入った際に、屋外の雨どいや柱を見回してみてください。爪痕ではなく、肉球の足跡が残っていれば、それはこのハクビシンの痕跡です。

近年、日野郡でも目撃情報が寄せられています。イチゴやブドウ、トウモロコシなど甘いものに被害を出すことがあります。これまでに見たことがない足跡や被害がありましたらお気軽にご相談ください。

日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399

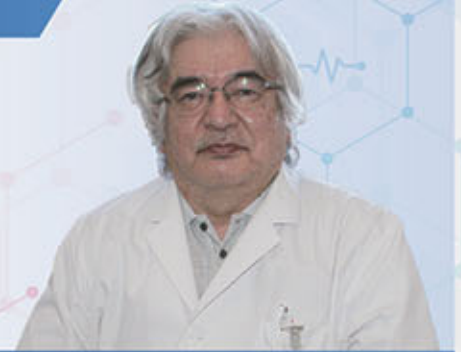
新型コロナウイルス感染症への日野郡の備え  
住民の皆さんの命と健康を守る取組  
各医療機関の先生からみなさまへ



日南病院 佐藤 徹 病院長

日南病院は「時々病院、しっかり家庭」をポリシーに、在宅医療に力を入れています。MRIが必要な時は日野病院にお願いして、患者さんは、その後再び自宅に近い日南病院に入院するなど、日野病院と連携しながら住民の皆さんの健康を守っています。

お正月は人の動きが多くなるので、特に御高齢の皆さんは、とにかく命を守る行動をとってください。

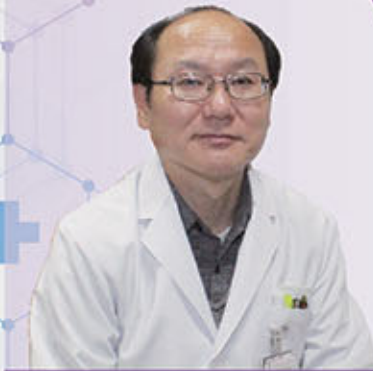


日野病院 孝田 雅彦 病院長

日野郡の医療を守るためには、医療機関同士の連携がたいへん重要だと考えています。

新型コロナウイルス感染症対応も、医療連携協定に基づいて、日南病院から一時的にPCR検査機器をお借りし、万全の体制をとるなど、日頃より協力して住民の皆さんの命と健康を守っています。

鳥大からも医師を派遣いただいております。日野郡の皆さんにとって、医療連携の重要性は、今後さらに高まっていくと思います。



江尾診療所 武地 幹夫 所長

新型コロナウイルス感染症は、年末年始が要注意です。都会から来られた方と交流するときは、3密を避け、食事以外のときはマスクを着用するなど、守るべきことを徹底し、備えをしっかりとってください。また、医療機関は感染予防を徹底していますので、持病のある方はコロナに気を付ける一方で、必要な医療を受けてください。

医療連携協定を締結して、コロナ診断から治療まで、日野郡で完結する体制が整いました。いざという時も安心して相談してください。



「日野郡の医療連携に係る基本協定」調印式

日野郡の医療機関は、新型コロナウイルス感染症への取組を連携して行っています。

日野郡には、日南病院、日野病院、江尾診療所の3つの医療機関があり、住民の皆さんの命と健康を守る岩として重要な役割を果たしています。

令和2年3月には、日野郡の安定的な医療提供体制の確保と地域医療人材の育成を目的とし、鳥取大学医学部附属病院と日野郡3町が、「日野郡の医療連携に係る基本協定」を締結しました。この基本協定に基づき、新型コロナウイルス感染症対策などに、3つの医療機関が連携して取り組んでいます。

(写真左から)鳥大医学部 谷口教授、日野町 岩田町長、江尾診療所 武地所長、日南町 中村町長、鳥大医学部附属病院 原田病院長、江府町 白石町長、日野病院 孝田病院長、日南病院 中曾事業管理者

発熱等の症状が出たときは、まずはかかりつけ医に連絡を!! かかりつけ医がないなど、お困りの方は下記へ。

- ◆受診相談センター(24時間対応)発熱等がある方で、かかりつけ医がないなどお困りの方はこちらへ <9:00~17:15>(土日祝含む) 看護協会委託 電話:0120-567-492 <左記時間以外> 米子保健所 電話:0859-31-0029
- ◆接触者等相談センター 陽性者と接触歴がある方や接触した可能性があるなどの心配がある場合は各保健所へ 米子保健所 電話:0859-31-0029



# 道路除雪についてのお願い



日野振興センターでは、住民の皆様安心して通行していただけるよう、日野郡3町と連携・共同して、国、県道の除雪及び凍結防止剤散布作業を行っています。

今期は、ドーザー1台、凍結防止剤散布車1台、歩道除雪機2台を増強し、3町、除雪業者等と一体となって除雪業務に励みたいと思います。

除雪作業を効率的に進めるため、皆様一人一人のご理解ご協力をお願いします。

## 皆様へのお願い



- ◆路上駐車は除雪作業の妨げになりますので絶対にしないでください。
- ◆道路に雪を出さないでください。
- ◆道路除雪作業後に残った玄関、車庫前の雪の処理は、住民の皆様でお願いします。

## 「とっとり雪みちナビ」をご活用ください



- ◆管内の主な道路や峠付近の除雪状況は、「とっとり雪みちナビ」をご覧ください。
- ◆日野郡内では31箇所のライブカメラが設置されています。
- ◆道路実況映像だけでなく、積雪深、気温などの情報も入手できます。  
(カメラ設置か所によっては、映像のみのところもあります。)



### とっとり雪みちナビ

町内主要道路実況ライブカメラ

四十山峠 (国道181号)

観測日時	
車道部の状態 (積雪状況) (cm)	1.4
道路脇設け道の温度(℃)	-3.4

ライブカメラ



## Interview

## 除雪車オペレーターの方に、除雪についてお話を聞いてみました

株式会社アカマツ  
赤松麻美さん



一除雪に関する運転免許を取得した理由、きっかけは何でしょうか。

トラックなどに乗りたいたいという気持ちがあり、除雪もしてみたかったので、大型免許は約10年前に取得しました。

一除雪を行ってよかった点を教えてください。  
毎年、除雪を丁寧にしてくれてありがたいといった感謝を受けます。  
また、路面をきれいに除雪できた時などはうれしいです。

一除雪を行う上での工夫している点を教えてください。  
事故がないように安全運転を考えています。除雪シーズン前には、毎年、コースの下見をし、車歩道ブロックなどの障害物の位置の確認などを行っています。

一除雪を行う際のテクニックがあれば教えてください。  
道路の除雪を横に広げないよう、なるべく上に積み込むように排土板を操作し、道路の幅員を確保しています。

当初は運転と排土板のレバー操作を同時に行うのに苦労しましたが、今はレバーを見ずに操作できるようになりました。

一女性が除雪を行う際に不利な点、苦労する点がありますか。

昔の除雪車はレバーが重かったりしたようですが、今使用している除雪車はレバーも軽く操作しやすいです。女性だから除雪が難しいということは感じません。

一今年度の抱負、意気込みを教えてください。

安全に気を付けて除雪を行いたい。  
特に昨年度は暖冬で活躍できなかったため、今年度は除雪で活躍したいです。

岡日野県土整備局 維持管理課

電話：0859-72-2047(夜間、休日は 72-0321(代))



### 表紙写真

タイトル：「星取県」我家の夜空

撮影者：日南町 石川 哲嗣

撮影者コメント：我家の裏、農道で撮影。街路灯のLED化を勧められているが未だ蛍光灯である。山の稜線は米子市街の灯かりで明るく見える。流星群のときは農道に敷物をして家内や子供と寝転んで観ていた。まさに「天体の植民地」であり、プラネタリウムである。この澄んだ空気と空が何時までも続くことを願うばかりだ。圃場の代掻き後の水面に映る夜空もまた絶景である。